

患者の皆様へ

2025年6月5日
食道・胃腸外科

現在、食道・胃腸外科では、消化器疾患領域における診断・治療などの医療行為の有効性・安全性に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では当科で診療を行った消化器疾患患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「消化器疾患における診断・治療法に関する後ろ向き観察研究」

2. 研究の意義・目的 「千葉大学医学部附属病院 食道・胃腸外科で診療を行った消化器疾患患者（食道腫瘍、胃腫瘍、小腸腫瘍、大腸腫瘍、その他消化器悪性疾患（GIST、神経内分泌腫瘍、肉腫など）、消化器良性疾患（食道アカラシア、逆流性食道炎、胃十二指腸潰瘍、病的肥満症、クローン病、潰瘍性大腸炎など）の診断（検査・画像診断・病理診断など）・治療（手術、化学療法、放射線療法など）等の医療行為について後ろ向き解析研究を行い、新規診断・治療法開発（フェーズ I/II 試験）のシーズとすること」

3. 研究の方法 「日常診療で得られた情報（治療成績、採血結果、画像検査など）を特定の個人を容易に識別できないように加工をした上で電子カルテ情報から収集し、統計学的手法を用いて各診断・治療法の組み合わせ、治療経過の差異の可能性を探索する。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名そのほか個人を特定しうる個人情報は一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院の外部からのセキュリティの担保された診療系端末、および千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 食道・胃腸外科
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学

本件のお問合せ先 : 千葉大学大学院医学研究院
先端応用外科学 講師 丸山 通広

千葉大学医学部附属病院
食道・胃腸外科 助教 松本 泰典
043 (222) 7171 内線 5294（先端応用外科学受